

仕 様 書

(印 刷 物)

1. 種類・規格

印刷物の名称	(1)後期高齢者医療保険料特別徴収通知書	後1001 :	18,000 セット
	(2)後期高齢者医療保険料納付通知書 (一般分)	後1002 :	3,200 セット
	(3)後期高齢者医療保険料納付通知書 (口座分)	後1003 :	1,500 セット
	(4)後期高齢者医療保険料額決定 (変更通知書)	後1006 :	2,000 セット
	(5)後期高齢者医療保険料額更正決定通知書	後1007 :	2,500 セット

詳細は別紙 種類・規格 のとおり

2. 内容 (デザイン等)

見本は契約課窓口で配布 (昨年の仕様に対して変更箇所)

3. 納期

令和8年6月19日 (金)

4. 納品場所

三原市役所 本庁庁舎内

(三原市港町三丁目5番1号)

5. 校正について

校正は2回以上行うこと

6. 問い合わせ先

所管課名 三原市企画財政部市民税課保険税係

担当者名 竹井

電話番号 0848-67-6030

種類・規格

全帳票共通

- ・ 9インチ折りで納入すること。
- ・ 両端落とし用・センタースリッター用の線をドロップアウトカラーで入れること。
- ・ 横ミシン目の両端には、アンカット（3mm）を入れること。
- ・ 帳票番号を、帳票の端に印刷すること。
- ・ 別紙「納入通知書」作成留意事項を遵守すること。
- ・ 納入先（「三原市」）・帳票番号をMSゴシック（太字）で24ポイント以上、帳票名・箱入数をMS明朝で22ポイント以上、納入年月・納入数量・納入業者名をMS明朝で14ポイント以上の大きさの文字で外箱に記載すること（商品ラベルサンプルを参照のこと）。また、帳票名などを記載したシールを外箱に添付する場合は、全面のり付けとすること。
- ・ 外箱は「C式（弁当箱型・内箱前開き）」とし、1箱あたり500セットとして使用すること（詰め物で調整しないこと）。
- ・ 納品された製品に、当市の責に帰さない事由による不具合があったときは、当市が不具合を指摘した日から最大4日以内（帳票によって変動）に、無償で再作成し納品すること。
- ・ 今回の帳票印刷に関して、不明な点がある場合は必ず市民税課と連絡をとること。
- ・ 三原市デジタル化戦略監デジタル化戦略課作成の「帳票作成基準」及びそれに付随する資料を必ず参照すること。

三原市 (24)

後 1001 (24)

後期高齢者医療保険料特別徴収通知書 (22)

令和8年6月 (14) 18,000 セット (14)

2000 (22) セット (22)

三原市 (24)

後 1002 (24)

後期高齢者医療保険料納付通知書 (一般分) (22)

令和8年6月 (14) 3,200 セット (14)

500 (22) セット (22)

三原市 (24)

後 1003 (24)

後期高齢者医療保険料納付通知書 (口座分) (22)

令和8年6月 (14) 1,500 セット (14)

1000 (22) セット (22)

三原市 (24)

後 1006 (24)

後期高齢者医療保険料額決定 (変更通知書) (22)

令和8年6月 (14) 2,000 セット (14)

2000 (22) セット (22)

三原市 (24)

後 1007 (24)

後期高齢者医療保険料額更正決定通知書 (22)

令和8年6月 (14) 2,500 セット (14)

2500 (22) セット (22)

帳票作成基準

三原市 デジタル化戦略監 デジタル化戦略課

目 次

【 OCR帳票・作成上の注意 】〔 TOSHIBA S2700EH 〕	1
【 NIP帳票・作成上の注意 】〔 FUJITSU PS5230C 〕	1
【 ブック帳票・作成上の注意 】〔 Duplo LGシリーズ製本機 + DS-200iインサーター 〕	2
【 圧着ドライシール帳票・作成上の注意 】〔 Duplo PF-6000 〕	2
【 複数機器使用帳票・作成上の注意 】〔 帳票一覧・処理機対応 〕	3

【 OCR帳票・作成上の注意 】 [TOSHIBA S2700EH]

① 総論

OCR処理は一方的作業ではなく複合作業である。もし読み取り不良が発生した場合、再作成だけではなくデータ入力・データチェック等付加作業が発生し、多大な追加経費と時間が必要となる。

OCR規格は100分の1mm単位の規定及びPCS値規定等ユーザー側で判断できない内容の積み重ねにより成り立っており、作成にあたってはメーカー仕様書内容を十分に理解し厳守しなければならない。

② 梱包・運送

OCR用紙は温度・湿度の影響を受け易く、伸縮・カールの発生を生じさせ、読み取りに影響が出る場合があるため、保管・搬送には十分注意すること。

③ 特記

別添資料

OCR (TOSHIBA S2700EH) スキャナの仕様と用紙の制限

 を参照。

【 NIP帳票・作成上の注意 】 [FUJITSU PS5230C]

① 総論

当連続用紙プリンターは、高速・高温にてトナー融着処理をする。したがってサプライ品の質の良し悪しが処理の結果を大きく左右するとともに、印刷装置への影響も発生させてしまう。

サプライ品の良し悪しは、化学物質・微細な許容範囲等、人の目では判断できない内容のため、基本的な仕様を仕様書に記載してはいるが、マニュアル厳守を前提に、最終的な可否は、ユーザーとテストをかさねて決定すること。

テスト時には、光伝導体や融着ロールに傷を付けたり性能劣化をまねかないよう慎重に対処すること。

② 特記

別添資料

ノンインパクトプリンター (FUJITSU PS5230C) 印刷用紙の規格と印刷データ
--

 を参照。

【 複数機器使用帳票・作成上の注意 】〔 帳票一覧・処理機対応 〕

① 総論

機器類を単独に使用する帳票は非常に少なく、複合して使う場合が多い。

その場合発生する問題点は、各器機が相反する規格の帳票を求めている点にあるので、この点をよく把握し、各帳票の規格決定等には充分検討を要する。

機器メーカーからは、問題が生じた場合、最終的な製品に対する責任を求められることがある。

② 相反する規格の例

A) ミシン目

切れづらいミシン目を設定 …… N I P帳票 (横ミシン・縦ミシン)、
ブック帳票 (縦ミシン)、
圧着帳票 (縦ミシン)

切れ易いミシン目を設定 …… ブック帳票 (横ミシン)、
圧着帳票 (横ミシン)

B) 紙質における水分

水分量が少ない設定 …… N I P帳票

水分量が基準量必要 …… ブック帳票、圧着帳票

C) 紙質における化学成分

化学成分を嫌う帳票 …………… N I P帳票

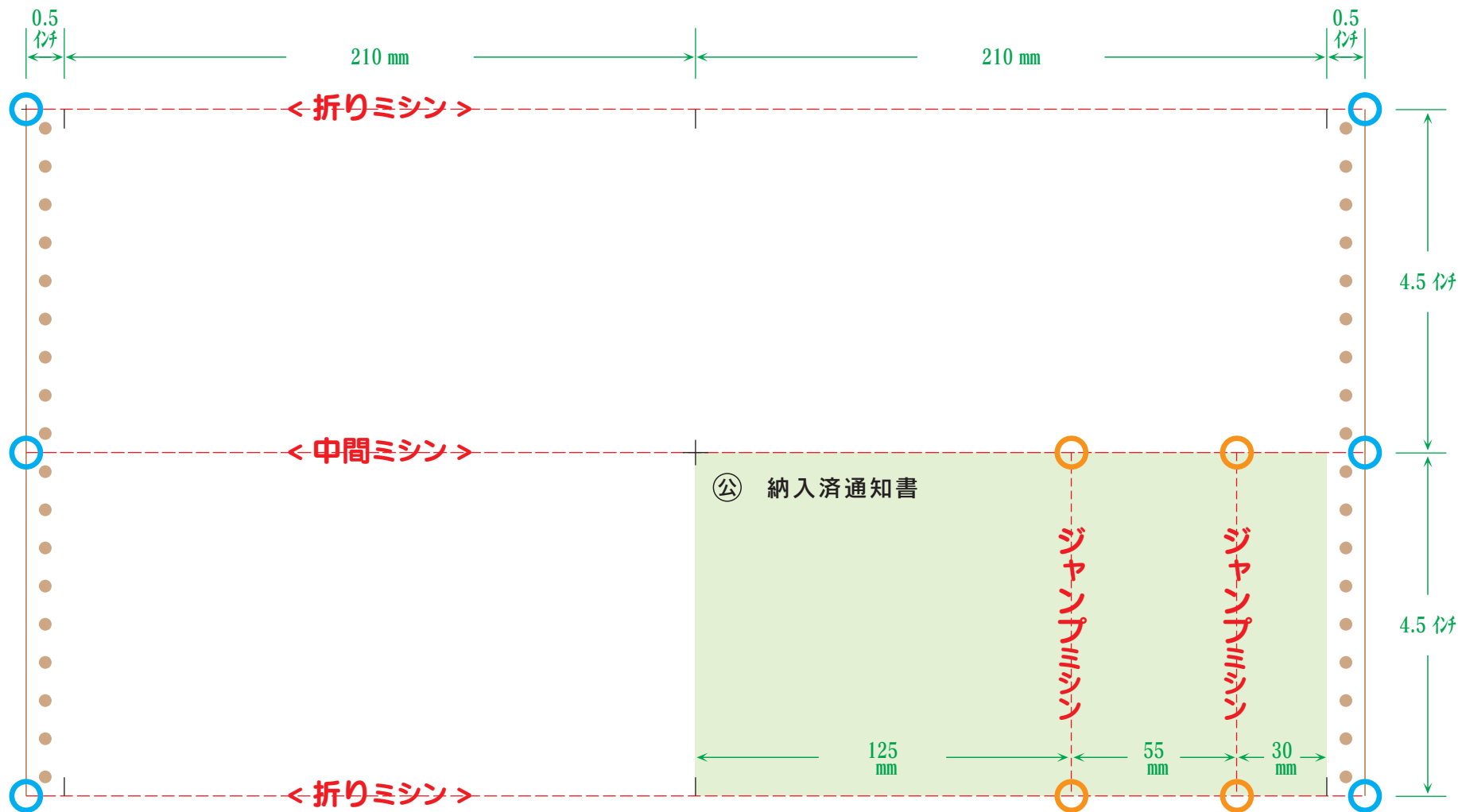
化学成分を必要とする帳票 …… 圧着帳票

③ 帳票の検品

帳票の仕様内容の検品は、人の目では不可能。
作業時の問題発生をもってクレーム確認とする。

「納入通知書」作成留意事項

帳票作成基準を厳守の上、下記留意事項を遵守する事



- 紙 質 OCR 72 kg
- 刷り色 指定色 (税・料毎に指定) + 金赤 (ドロップアウトカラー / PCS値 0.1以下)
- ミシン 折りミシン = 3.0 : 1.0 中間ミシン = 3.2 : 0.8 ジャンプミシン = 2.0 : 1.0
- = 横ミシン左右アンカット 3mm ○ = ジャンプミシンが飛び出ないこと
- 折 り 9インチ折り厳守
- 梱 包 C式 (弁当箱) 段ボール 箱入り数 = 縦 4.5インチで ~~4,000~~ ⁵⁰⁰ 枚を基準入り数とする

- 【箱入り数・基準】
- 縦 4.5 インチ帳票 … ~~4,000~~ ⁵⁰⁰ セット
 - 縦 9.0 インチ帳票 … 2,000 セット
 - 縦 13.5 インチ帳票 … 1,000 セット
 - 縦 18.0 インチ帳票 … 1,000 セット
 - 縦 27.0 インチ帳票 … 500 セット
 - 縦 36.0 インチ帳票 … 500 セット

付録 2 スキャナの仕様と用紙の制限

1. スキャナの仕様

(1) スキャナ本体の仕様

項目		仕様
読取方式		原稿移動式
読取面		用紙表面 / 用紙裏面 (両面読取モデル)
画像センサ		CIS (密着センサ) 視野 317.5mm
光源		LED (R, G, B)
		中心波長 *1*2 赤 : 660±20nm 緑 : 527.5±20nm 青 : 470±20nm
出力画像解像度		600/400/300/240/200 dots/25.4mm
出力画像階調	モノクロ	2 値 (1bit/pix) / 4 値 (2bit/pix) / 16 値 (4bit/pix) / 256 値 (8bit/pix)
	カラー	RGB 各 8bit (24bit/pix)
ホッパ容量 *3		35mm (81.4g/m ² (70kg 連量) 用紙で約 350 枚)
給紙方法		<ul style="list-style-type: none"> • フィーダによる自動給紙 • 手差しによる 1 枚給紙
スタッカ容量	第 1 スタッカ (ノーマル)	35mm (81.4g/m ² (70kg 連量) 用紙で約 350 枚)
	第 2 スタッカ (リジェクト)	10mm (81.4g/m ² (70kg 連量) 用紙で約 100 枚)
ダブルフィード検知 *4		超音波センサによる重送検知
クリアホルダ搬送		可 (種類指定)

*1 赤 / 緑 / 青は、アプリケーションにより切り替えることができます。

*2 弊社従来機種である S2500 とは特性が異なります。ドロップアウトカラーについては、弊社営業担当までご相談ください。

*3 クリアホルダなど、帳票によりホッパ容量が少なくなる (積載枚数に制限) 場合があります。

*4 ドライシーリング用紙、のり付け用紙、折りたたんだ用紙、クリアホルダなどは正常に検出できない場合があります。

(2) 読取速度

両面読取モデルと片面読取モデルでは、読取速度が異なります（両面読取モデルでの表面のみの読取速度は、片面読取モデルに準じます）。

読取速度は、弊社指定のテスト用紙を、弊社指定の条件下で処理した速度です（ホストコンピュータのHDD書き込み時間は含みません）。

■ OCR 読取

用紙サイズ	項目	速度仕様
A4 横	白黒2値・手書き数字300字	120枚/分以上

■ スキャナ読取

速度仕様 200dots/25.4mm

用紙サイズ	項目	速度仕様	
A4 横	白黒2値 256階調グレースケール 24bitカラー	片面	120枚/分以上
		両面	240面/分以上
A4 縦	白黒2値 256階調グレースケール 24bitカラー	片面	80枚/分以上
		両面	160面/分以上
A8 縦	白黒2値	片面	230枚/分以上

速度仕様 240dots/25.4mm

用紙サイズ	項目	速度仕様	
A4 縦	白黒2値 256階調グレースケール 24bitカラー	片面	75枚/分以上
		両面	150面/分以上

速度仕様 300dots/25.4mm

用紙サイズ	項目	速度仕様	
A4 縦	白黒2値 256階調グレースケール 24bitカラー	片面	70枚/分以上
		両面	140面/分以上

速度仕様 400dots/25.4mm

用紙サイズ	項目	速度仕様	
A4 縦	白黒2値 256階調グレースケール 24bitカラー	片面	50枚/分以上
		両面	100面/分以上

速度仕様 600dots/25.4mm

用紙サイズ	項目	速度仕様	
A4 縦	白黒 2 値 256 階調グレースケール 24bit カラー	片面	30 枚 / 分以上
		両面	60 面 / 分以上

ドキュメントモード

用紙サイズ	項目	速度仕様
74×52mm	白黒 2 値	290 枚 / 分以上

(3) ホストインタフェースの仕様

項目	仕様
インタフェース	USB3.0 (Super-Speed) / USB2.0 (High-Speed)

* USB2.0 接続時は、USB2.0 に準拠した処理速度になります。

(4) ナンバリングの仕様（表用）

用紙表面にナンバリング印字を行う、表ナンバリングの仕様を示します。

項目	仕様
印字面	用紙表面
印字桁数 *1	最大 50 桁
印字字種	数字 (0 ~ 9)、英字 (A ~ Z)、スペース、- (ハイフン)
印字色	赤色 / 黒色 *2
印字位置 *1	第 1 印字位置 / 第 2 印字位置 *3
印字方向	正方向 / 逆方向

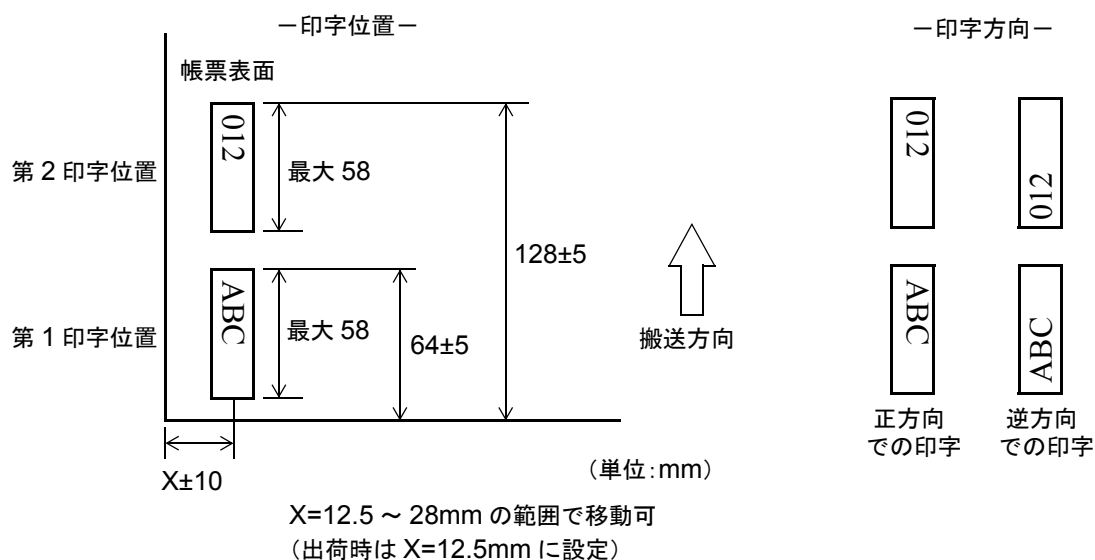
*1 用紙サイズにより、印字桁数や印字位置が制限されます。

*2 インクカートリッジを付け替えることにより、切り替えます。

*3 各印字位置とも、用紙左側からの位置（下図の X 値）を 12.5 ~ 28mm の範囲で調整できます。位置を変更する場合は、サービスステーションにご連絡ください。

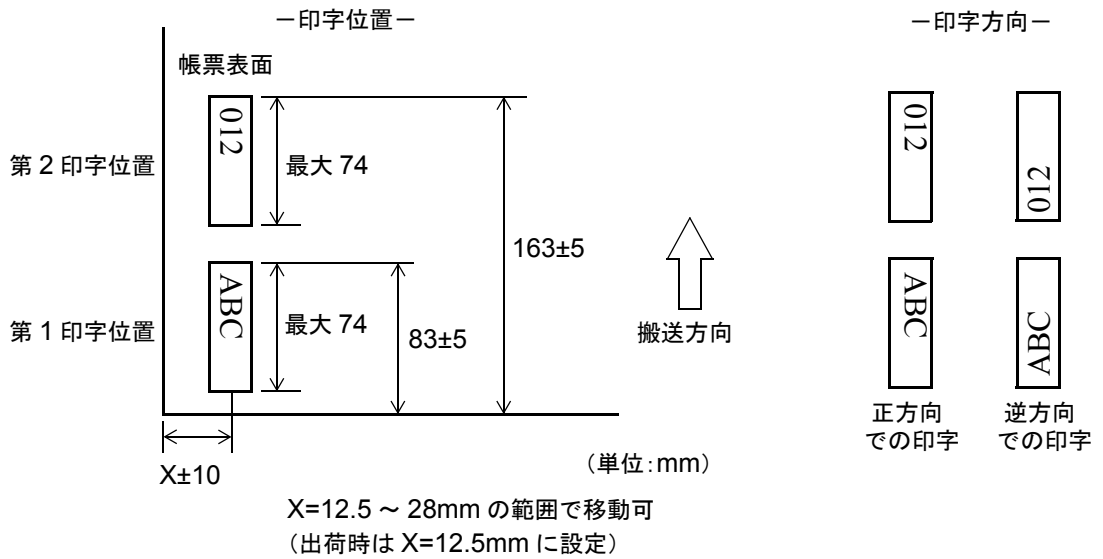
ホッパでの積載状態が悪かったり、搬送中にスキューしたときは、正しい位置に印字できないことがあります。

■印字桁数が 16 桁以下



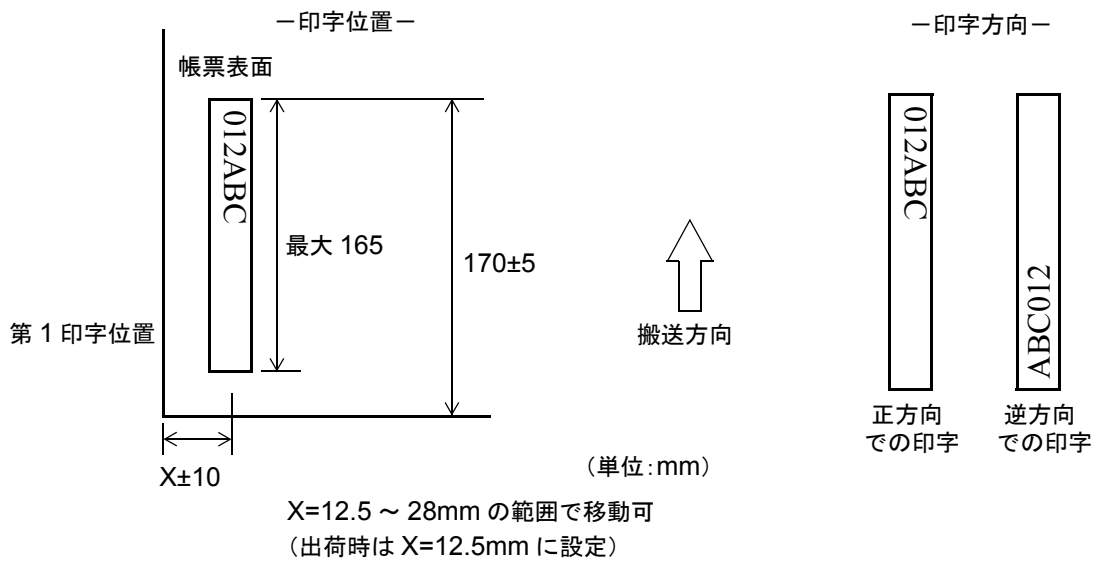
搬送方向に対して帳票縦サイズが 148mm 以下の場合は、第 2 印字位置へ印字することはできません。

■印字桁数が 17 桁以上 20 桁以下



搬送方向に対して帳票縦サイズが 183mm 以下の場合、第 2 印字位置へ印字することはできません。また、帳票縦サイズが 103mm 以下の場合、第 1/ 第 2 印字位置とも印字することはできません。

■印字桁数が 21 桁以上 50 桁以下



搬送方向に対しての帳票縦サイズによっては印字することができません。

(5) ナンバリングの仕様（裏用）

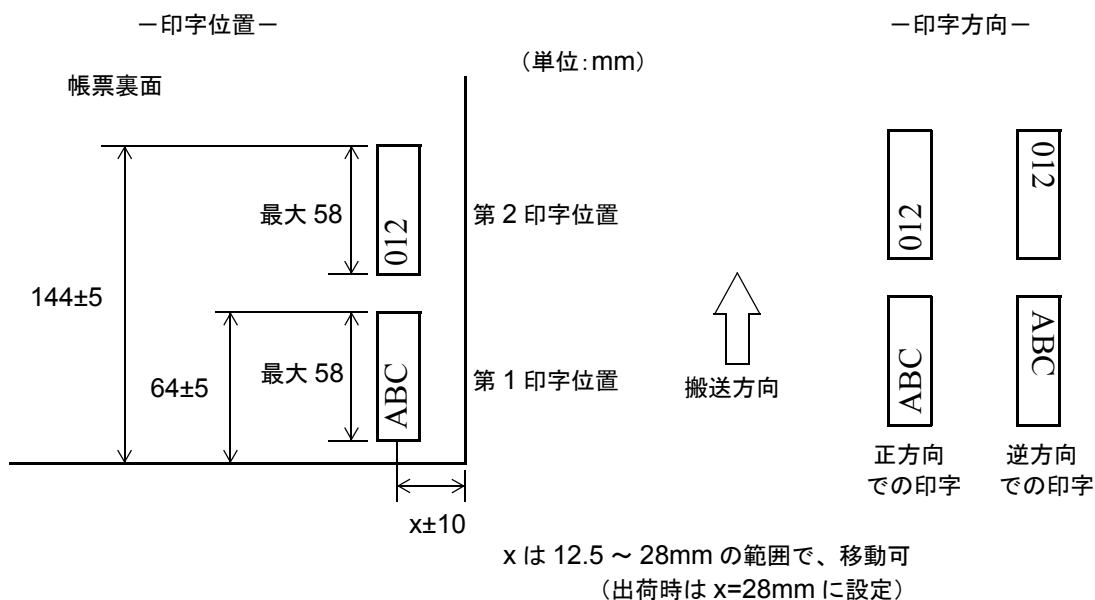
用紙裏面にナンバリング印字を行う、裏ナンバリングの仕様を示します。
裏面にナンバリングを行う場合は、両面ナンバリングオプションが必要です。

項目	仕様
印字面	用紙裏面
印字桁数 *1	最大 50 桁
印字字種	数字 (0 ~ 9)、英字 (A ~ Z)、スペース、- (ハイフン)
印字色	赤色 / 黒色 *2
印字位置 *1	第 1 印字位置 / 第 2 印字位置 *3
印字方向	正方向 / 逆方向

- *1 用紙サイズにより、印字桁数や印字位置が制限されます。
- *2 インクカートリッジを付け替えることにより、切り替えます。
- *3 各印字位置とも、用紙左側からの位置（下図の X 値）を 12.5 ~ 28mm の範囲で調整できます。位置を変更する場合は、サービスステーションにご連絡ください。

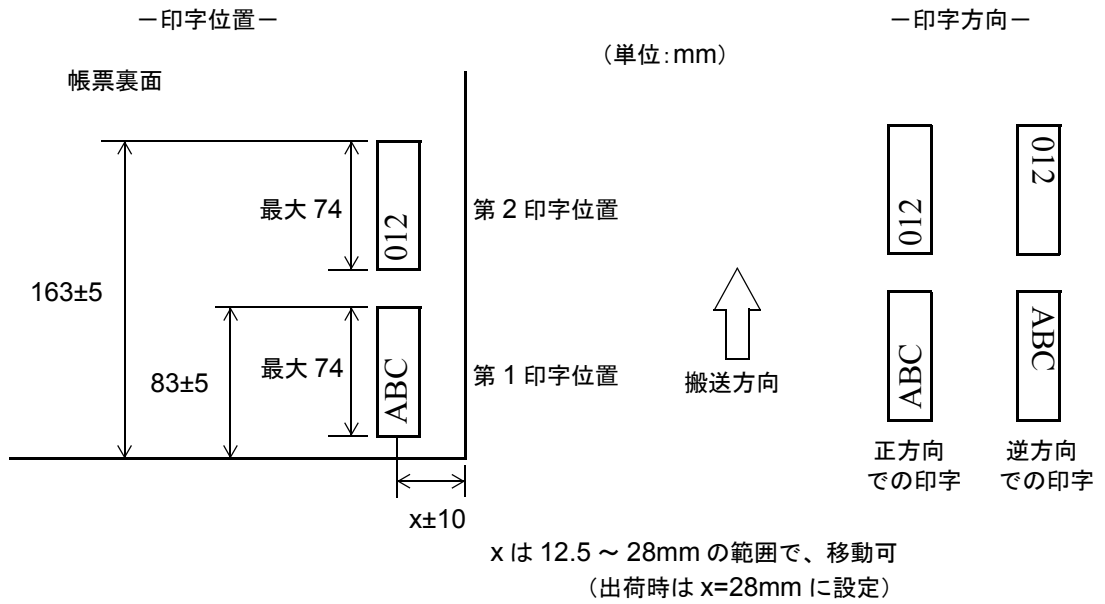
ホッパでの積載状態が悪かったり、搬送中にスキューしたときは、正しい位置に印字できないことがあります。

■印字桁数が 16 桁以下



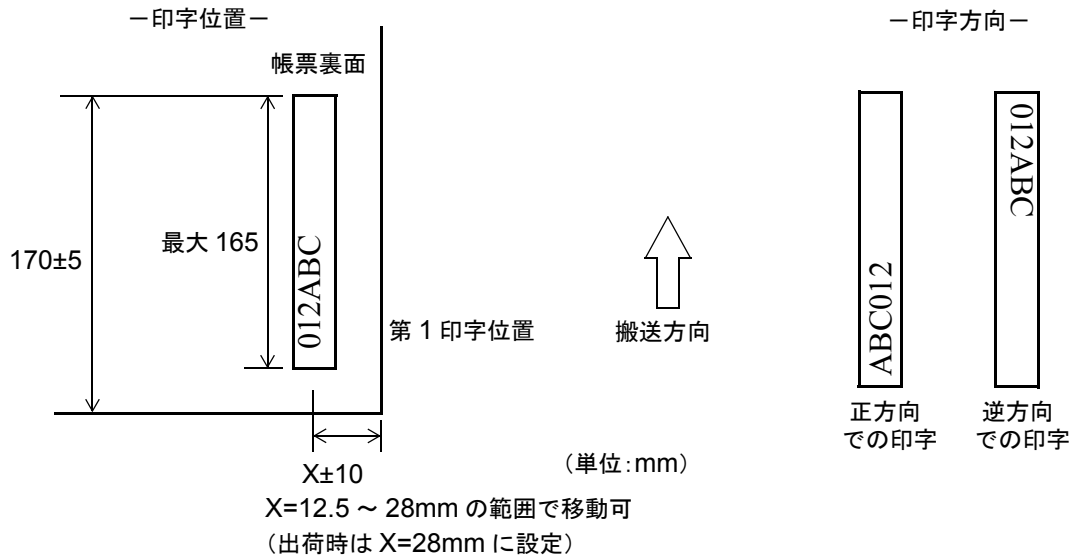
搬送方向に対して帳票縦サイズが 148mm 以下の場合、第 2 印字位置へ印字することはできません。

■印字桁数が 17 桁以上 20 桁以下



搬送方向に対して帳票縦サイズが 183mm 以下の場合、第 2 印字位置へ印字することはできません。また、帳票縦サイズが 103mm 以下の場合、第 1/ 第 2 印字位置とも印字することはできません。

■印字桁数が 21 桁以上 50 桁以下



搬送方向に対しての帳票縦サイズによっては印字することができません。

2. 用紙の制限

(1) 用紙の仕様

スキャナで読み取れる用紙の仕様は、次のとおりです。

項目		仕様
サイズ (縦×横) *1		70×52 ~ 420×305mm
縦横比 *1		0.5 ≤ 縦 / 横 ≤ 2.0
紙厚 *1		<ul style="list-style-type: none"> • 157.0g/㎡超 ~ 209.3g/㎡以下 (135kg 超 ~ 180kg 連量以下) 一般のハガキサイズ (99×140mm ~ 102×148mm) • 128.0g/㎡超 ~ 157.0g/㎡以下 (110kg 超 ~ 135kg 連量以下) 最小 ~ A5 サイズ縦 / 横まで • 104.7g/㎡超 ~ 128.0g/㎡以下 (90kg 超 ~ 110kg 連量以下) 最小 ~ B4 サイズ縦まで • 64.0g/㎡超 ~ 104.7g/㎡以下 (55kg 超 ~ 90kg 連量以下) 最小 ~ A3 サイズ縦まで、または 364×305mm まで • 52.3g/㎡超 ~ 64.0g/㎡以下 (45kg 超 ~ 55kg 連量以下) 105×105mm ~ A4 サイズ縦 / 横まで • 40.7g/㎡超 ~ 52.3g/㎡以下 (35kg 超 ~ 45kg 連量以下) 105×105mm ~ 148×279mm
紙質	使える紙質	OCR 用紙、上質紙、普通紙、再生紙 (要評価 *2)、感圧紙 A/C、感圧紙 B (要評価 *2)、減感印刷用紙 (要評価 *2)、ドライシーリング紙 (要評価)
	使えない紙質	特殊な表面処理がしてある紙質全般、裏カーボン紙、全面減感印刷用紙、ビニール系コート紙、その他 *3
混在条件 *4	サイズ混在	74×88mm ~ 150×180mm (縦×横) の範囲
	紙厚混在	40.7 ~ 209.3g/㎡ (35 ~ 180kg 連量) の範囲 ただし、平坦な単票紙で、同一紙質であること また、40.7 ~ 64.0g/㎡ (35 ~ 55kg 連量) を混在する場合は、処理速度および処理性能は要評価
スタッカ振分		読取結果および搬送エラー検知により、第 1 スタッカと第 2 スタッカに振り分けて排出することが可能 対象となる帳票は A4 縦サイズまで *5

*1 縦 / 横は、搬送方向に対する方向です。サイズ、縦横比、紙厚は、紙質や機能などにより制限される場合があります。

- *2 事前に適正な紙質であるかを評価する必要があります。弊社営業担当までご相談ください。
- *3 使える紙質であっても、断裁精度のよくない用紙、ミシン目がある用紙、折れている用紙、のりづけ用紙などは、搬送できないことがあります。
- *4 この条件外の混在処理については、事前に評価する必要があります。弊社営業担当までご相談ください。
- *5 A4 縦を超えるサイズの帳票は、スタッカ振分できません。

■ 64.0g/ m² (55kg 連量) 以下の用紙の取扱いについて

64.0g/ m² (55kg 連量) 以下の上質紙などの薄い紙は、使用する前に搬送テストや読取テストを行い、問題点がないかチェックします。紙が薄く、折れや破れがおこりやすいため、ていねいに用紙を取り扱う必要があります。
上質紙の推奨紙は、日本製紙(株)製 NPI です。

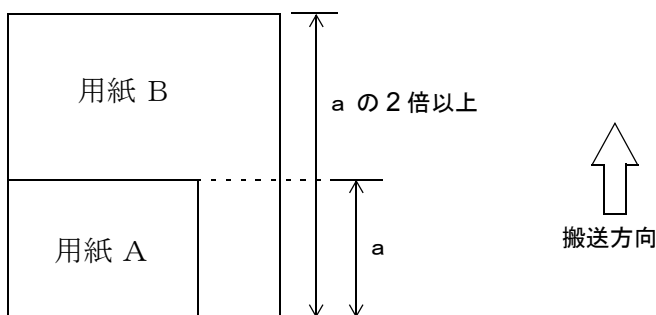
■ 複数種類の用紙を混在処理するときの制限

同一ジョブで ID 指定による混在処理ができる用紙の条件は、次の通りです。

用紙サイズ (縦×横)	74×88 ~ 150×180mm
紙厚	64.0 ~ 209.3g/ m ² (55 ~ 180kg 連量) の範囲
紙質	OCR 用紙、上質紙、普通紙、再生紙

ただし、搬送方向に対して用紙縦サイズが下図のように 2 倍以上異なる用紙どうしを混在処理することはできません。

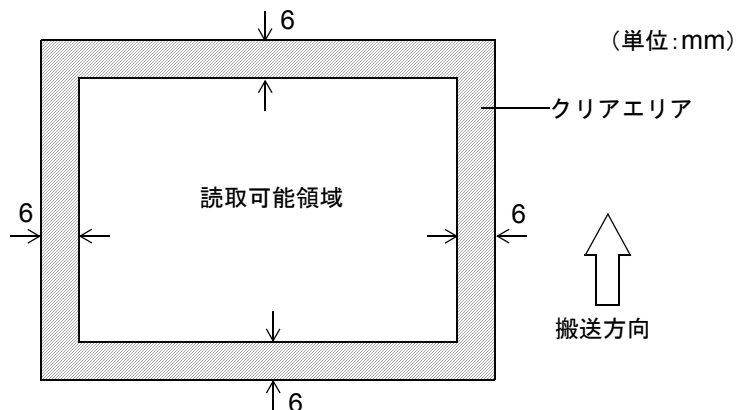
【例】用紙 B の縦サイズが、用紙 A の縦サイズの 2 倍以上あるので、混在処理は不可



- メモ
- 普通紙、再生紙を混在処理する場合は、事前に評価が必要です。新規の帳票設計上、運用上に制限が発生する場合があります。詳細は、サービスステーションまでお問合せください。
 - 用紙のホッパへのセット方法に制限があります。
☞ P.29 の「3. 混在処理時の用紙の並べかた」
 - サイズチェック、紙厚チェックを行うことはできません。
 - ダブルフィードを検出できない場合があります。

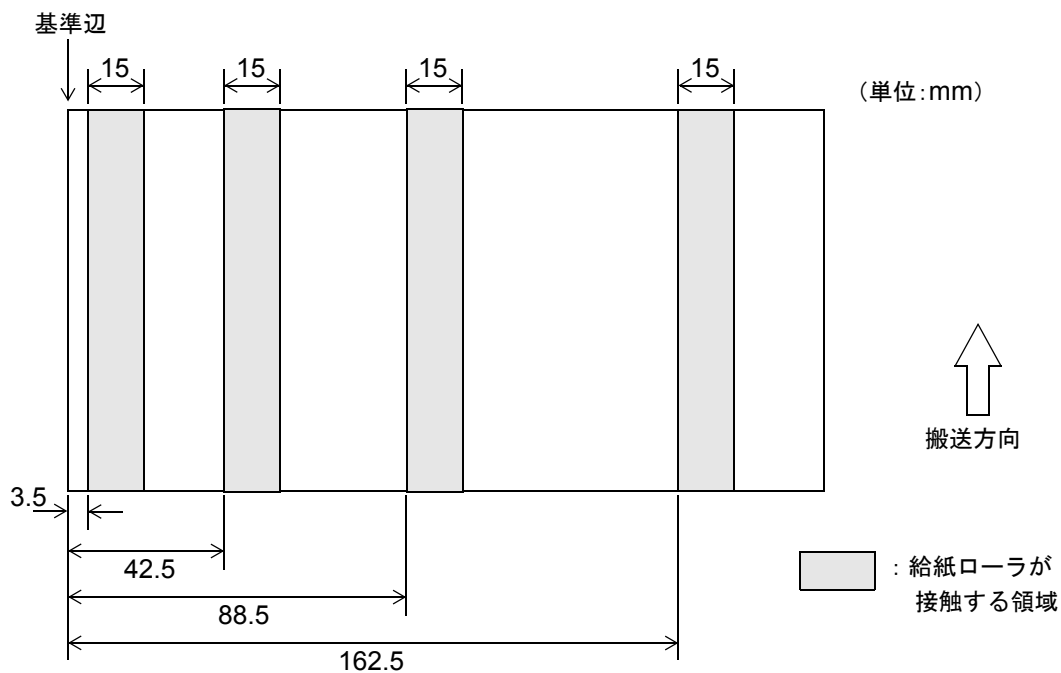
(2) 用紙周辺のクリアエリア

用紙周辺のクリアエリア（非ドロップアウトカラー禁止領域）は、下図のとおりです。
読取可能領域は、このクリアエリアの内側です。



(3) 給紙ローラの位置

給紙ローラに接触する用紙の領域は、下図のとおりです。
この領域に、押印、切手、シールなどを貼り付けしないでください。押印欄、切手、シールなどが汚れ、イメージ読取や紙送りに悪影響を及ぼすことがあります。



(4) ダブルフィード検出機能

用紙の有無やダブルフィード（用紙の2枚送り）を検出する機能の仕様を示します。

項目	仕様
ダブルフィード検出長	用紙の重なりが連続して32mm以上のとき、ダブルフィードとする
ダブルフィード検出範囲	40.7 ~ 209.3g/ m ² (35 ~ 180kg 連量) 用紙

次の領域の紙厚をチェックしてダブルフィードを検出するため、この領域への切手、シール、付せんなどの貼り付けができません（用紙の表面、裏面とも）。

